

安心・安全
を
つ
づ
け
ら
れ
る
住
居
環
境

知ら咲か



2018 DECEMBER NO.67

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

宝塚第2地区防災会

11/12 避難訓練を実施しました

☆広域での大規模避難訓練

地震、台風、豪雨等が頻繁に発生し、何時何処でも自然災害に遭遇する可能性があります。

万が一に備えて、それぞれのご家庭で話し合い準備されていることと思います。

白瀬川両岸集合住宅協議会の各自治会や周辺各自治会が加入している宝塚2地区防災会の大規模避難訓練が11月12日(月)に開催されました。

この訓練は社団法人宝塚ゴルフ倶楽部と周辺自治会が協定し、災害時に宝塚ゴルフ場に一時避難することを主眼にしたものです。

指定避難場所以外で身近な場所に避難できることは住民にとっては心強い限りです。

☆まず第一集合場所へ

訓練の始まりは、まず各マンションで取り決めている場所へ各自で集合します。そして点呼を受け無事を確認します。全員いることが確認できればゴルフ場入り口へ向かいます。

ゴルフ場の入り口へは県道を横断しなければなりません。横断歩道はないので、上り下りの車に停止して頂きすばやく横断します。そのため車の通行を整理する人も必要です。横断する人も左右の確認は十分行いましょう。

☆ゴルフ場内を歩く

今回の訓練当日は快晴でハイキング気分で歩くことができましたが、ゴルフ場内には高木もたくさんありますので災害時には倒木や地割れなども想定しておかねばならないでしょう。

訓練時に何度か歩いておけばどのあたりにどんな物がある



るかも把握できますので訓練日を活用して肌感覚を鍛えておきたいものです。
挨拶された方々は
千秋地区防災会会長、宝塚市危機管理監、
西消防署長、宝塚ゴルフ倶楽部部長、
逆瀬川地域包括支援センター所長、社
協地域担当者の皆様です。

11月12日『避難訓練』に参加しました！ パークマンションからゴルフ場へ

11月12日(月)逆瀬台地区の避難訓練に初めて参加しました。マンションの指定場所に集合して、一時避難場所に指定されている宝塚ゴルフ倶楽部の指定場所に移動する訓練です。

毎年実施されていることは知っていましたが、仕事の関係で参加していませんでした。今年は勤めを退職したので初めて参加しました。

自治会の呼びかけで、参加者はマンション前に集合して、避難場所の宝塚ゴルフ場に向かって集団で約10分間歩きました。ゴルフ場には既に各マンションからの訓練参加者が多数集合されてい

ました。実行委員の千秋さんから挨拶があり、その後、ご来賓として宝塚市危機管理官、西消防署長、地域包括支援センター所長、宝塚ゴルフ倶楽部総務部長、社会福祉協議会担当者から、防災活動のあり方、最近の災害発生および被害状況防災活動の重要性、地域防災

のあり方等お話がありました。宝塚市全体では、被害件数が100件、武庫川の水位が危険水域に達したとお話もありました。千秋さんからは、来年の1月18日〜22日アピア2Fにて防災展示会を開催する旨お話がありました。12月中旬には案内文を配布するとのことでした。

避難訓練そのものは余裕をもって行動できましたが、実際に避難指示が出た場合にはパニック状態になるだろうと思えます。そんな時に役立つのが平時の備えであり、避難訓練体験が必ず役に立つと思います。

はじめて参加して、そんなことを思った次第です。(記；HB)



寄稿記事 Cat and dog

いま、沢山のご家庭がペットを飼っています。逆瀬川ブロック内でもペットと生活を共にして、家族と同じ様に可愛がり大切に育てておられる方も少なくありません。又、反対に犬嫌い、猫嫌いの人もいらっしゃいます。見るだけでも「いや！」「臭いを嗅ぐだけで「いやいや！」な人も沢山いらっしゃると思います。

お互いに、ストレスにならないように、生活している人は、ペットを育てるためのマナーは当然守っています。飼っていない人もそれを黙認していません。マナーが守れていない飼主さんもいます。特に、逆瀬川ブロックは、マンションの住人が、ほとんどです。犬や猫を飼うことは、禁止されています。あるマンションでは、一代限りのみ飼っていても許可をされています。ただし、ペットクラブを作り、会費を出し合う会の中でペットの躰や、ルール、または、飼主のモラル等を話し合

っているみたいです。白瀬川の周りには、静かで、きれいな、とても環境の良い所です。その中で、道路の端の、犬のフン、猫のフン、ほとんどの飼主さんが、ルールを守っていないのに、猫さんが、います。犬や猫が悪いのではなく、モラルが悪い主さんの、モラルが、無いのか、何も考えないのか、誰も見ていないのか、後始末をしないのか、糞を放置して行く。とんでも無い事ではないの問題では無いですが、悲しくなります。

犬のフンは持ち帰りましょう



をします。砂場を毎日掃除して、「フン」を除去してくれてはいる人もいます。砂場は小さな子供たちが遊んでいます。ペットを飼っているほとんどの人々が散歩の時に、持っている袋の中には新聞紙や水の入ったペットボトル、ビニール布クロ等が、入っています。

マンションの住民だけでなく、近隣の住民さんもお互いに住みよい環境にしていきましょう。夜、遅い時間に鳴く犬の声、夜遅くも聞こえるピアノの音、困っている人もいます。お互いにルールを守りましょう。

H30年11月2日(金)～4日(日) 西山住宅第4回作品展

西山住宅集會室

11月、芸術の秋です！

西山住宅恒例の作品展が開かれました。

私は、昨年に引き続き取材させていただきました。今年

はマジックショウタイムもあるので初日と最終日の

二回訪問しました。

大久保自治会長さんにお会いして、概要をお伺いして

作品展を拝見してまわりました。

自治会長さん、出展者の皆さんの埋もれた才能の素晴らしさを絶賛でした。

昨年までは、作品は集會室壁面四方の壁面およびテーブル

に置かれていました。今年の展示は四方でなく三方だったので

出展数が減ったのかな？と思いましたが出展数をアバウト

数えたところでは減ってはいないように思いました。

絵画、編み物、刺繍、写真、

アートフラワー等の作品が40点数？くらい出展されました。

また、子供さん達の作品も

沢山出品されていました。

2歳の平井正孝ちゃん

の「阪急電車ごっこ」や、喜多

君の「水族館」も良くできて

います。小学生も夏休みの

作品(?)等15点位、出展

されていました。特に山本裕

也君のアブラゼミ、クマゼミ、

ツクツクボウシ、ニイニイゼ

ミの違いをヌケ殻から研究し

た作品は興味深く感心しながら

拝見しました。

今回も女性の作品が多く出

展されていました。男性の

作品も少ないながら二人の方

から書画や写真が出されてい

ました。

また、子供さん達の作品も

沢山出品されていました。

2歳の平井正孝ちゃん

の「阪急電車ごっこ」や、喜多

君の「水族館」も良くできて

います。小学生も夏休みの

作品(?)等15点位、出展

されていました。特に山本裕

也君のアブラゼミ、クマゼミ、

ツクツクボウシ、ニイニイゼ

ミの違いをヌケ殻から研究し

た作品は興味深く感心しながら

拝見しました。

今回も女性の作品が多く出

展されていました。男性の

作品も少ないながら二人の方

から書画や写真が出されてい

ました。

とところで今年、作品展に

加え「マジックショウ」がセッ

トされました。鎖のように絡ま

った3個の「ワッカ状のサイコロ

」を一個のサイコロにする！

というマジックで作品展に来

場の方々を対象に、中央のテー

ブルを囲んで、奇術指導を受け

ながらアーでもない！コーで

もない！アツツできた！と楽

しい一時を楽しみました。

私もワッカをもらって挑

戦！案外早くサイコロが出来

上がったので満足でしたがど

うして完成できたのか？理屈

は解らないままでした。

西山住宅としてのサークル

活動は、お琴サークルだけだ

そうです。

出展されている方達はそれ

ぞれ独自で修練を重ねられて

いるのだと！

大久保会長のおっしゃる通

り素晴らしい才能を持った方

が沢山いらっしやる自治会

です。

最終日4日の昼前に受付の

方に来場者数をたずねたこ

ろ200人位との事でした。

後に残っているので大成功

だったと思います。

今後、趣味の輪が広がって、

作品展が継続して開かれて行

きますよう祈念しています。

(記事取材 o t)



第102回ふれあいサロン・アヴェルデ 「作品展・バザー」レポート

10月21日(日)、秋晴れの好天に恵まれて、管理棟1階および2階を会場に、今年も作品展とバザーが開催されました。

スタッフも準備万端



作品の出品者が年々少なくなっているようです。それでも、手芸や写真・絵画など、素晴らしい作品が展示されました。どれほどの

開場時刻を待ちかねてご来場の皆さん



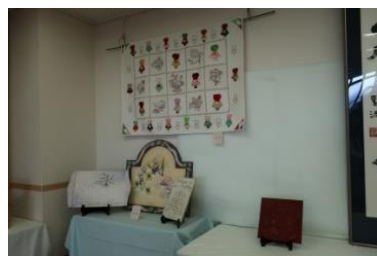
時間と手間をかけて完成されたのでしょうか。そして、作品作りを継続されていることに敬服するばかりです。思わず、「この作品はどのようなように作られたのでしょうか？」と聞き出すと、作品への愛情にあふれた思い入れを語って下さいました。
1階では生け花教室の生徒さん達が朝から一生懸命に

休憩所も兼ねた1階に展示された生け花



126名というたくさんの方々が来場者をお迎えしましたが、もっと若い世代、子ども達、子育て世代の来場を増やしたいという思いもあり。小学生の皆

懸命活けておられました。会場に文字通り華を添えてくださいました。昨年は書道教室の生徒さんによる出品もありましたが今年度は教室を閉じられたようで、淋しく思いました。



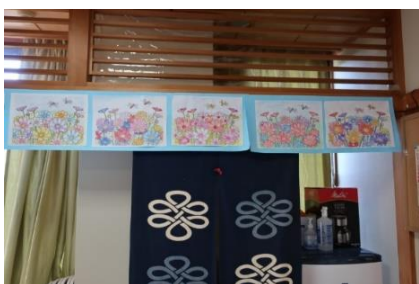
さんが夏休みの課題として頑張っておられた自由課題なども、大切に保管しておいて頂き、この催し会場に出品して頂くという計画中です。

バザーでは、大切にしてきた「良い物」を惜しみなく提供して下さった方々に感謝。そして毎週火曜日に集い、交流を深めつつ作り溜めてきた手芸品を手にとってご購入下さった方々にも、お陰様で今後のサロン活動に「希望の光」が見えて参りました。売上金が増えればやはり嬉しいです。
行事の運営資金も少しはゆとりができそうです。作品の出品数や、来場者数の拡大に向けて様々な課題に取り組みで参ります。最後になりましたが、9月のサロン行事で配布した「おみやげ」。コスモスの塗り絵でした。この塗り絵を丁寧に描き上げて担当者にお渡し下さった方が10人以上ありました。嬉しくて、台紙に貼り展示させて頂いていただきました。本当に心のこもった、そして同じ下絵でありながら、すべて違う味わいの「絵」として仕上げ下さった方々に胸が熱くなりました。ありがとうございます。

執筆 N



たくさんの持ち寄り品と真心を込めて作り溜めた手芸品



第 103 回ふれあいサロン・アヴェルデ 「音楽とお茶会」レポート

11月15日(木)、管理棟1階にてアヴェルデのサロンでははじめての試みとしてミュージックセラピーを実施しました。約20名の方が参加してくださいました。プログラムは「パタカラ」と「ブームワッカー」の体験活動です。



セラピスト(筆者)の思いは、「音楽を通して心身の健康維持を図り、コミュニケーションを深める」という狙いがありました。事前に訪問したい歌のCDを館内に流して



いたり、歌う時間を設けてありました。音楽を聴きながら身体機能回復の訓練をされている場面も。サロンでは初めに「紅葉」と「旅愁」を斉唱。次にテキストに沿って「パタカラ」で。唇や舌の動きを意識して発音し歌うことは、食べ物や飲み込んだり舌でつぶしたり丸める力の低下を防止するためです。同時に「卑弥呼の歯がいいぜ」をキーワードにした資料を提示し、「嘔む」との効用もお伝えしました。



「今日は体調もぼつちり。しっかり声をだしたくて来ましたよ。」「歌うのが楽しみでしたよ。」「などのお言葉を励みに前半の1時間は笑い声いっぱい進行できました。



後半は「ブームワッカー」(別称メロディバトン)を使って「河は呼んでいる」の合奏。楽器は一人一本持っていたが、メロディや和音に合わせて机の角を叩いての合奏です。他人の音を聞くことで滑らかに自分の音をならしていくのは簡単そうで結構難しいです。子どもでも楽しめる楽器ですが、お元氣な大人の方々が演奏されるのだからと、選曲にも悩みました。「こんな幼稚なことではなく、もっと高度なことをやってほしい。」とのご意見をいただきました。



内ポスターに「ミュージックセラピー」という言葉を入れるのをためらったのは、そうした背景からでした。今回のサロンの3週間前、健康福祉部主催での「介護保険制度」学習会が開催されました。市の担当者による丁寧な説明に参加者は制度への理解を深め、デイサービスにも大きな関心を寄せられたようです。こうした行政が推進する事業と並行して、居住地域でのサロン活動もそれぞれ「味」を出しながら積み上げていければと考えます。ティーブレイクは短い時間となってしまいましたが、

執筆 N

パークマンション11月行事 宝塚を美しくする市民運動 「市民一斉清掃」に初参加!

パークマンション自治会では、11月度行事として『宝塚一斉清掃』に初めて参加しました。清掃区域は、マンション前の『逆瀬台第二公園の清掃』です。

台風の影響で散乱したり、一か所に積もっている落葉や除草を中心に、美化作業を参加していただいた住民の皆さん20名程度によって行われました。

今迄は、市の公園なのだから「清掃は市の仕事」として住民は無関係としてきました。自治会が発足したことで、公共の物であっても利用する側にも果たすべき責任があるのではと果たすべき気運も高まってきたのだと思います。

その気運は、市のアドプト制度による花壇づくりも影響しているのかなとも思います。自治会長からの提案を役員会で協議し、一斉清掃に参加が決定されました。自治会で参加ポスターを作成、住民への参加が呼び掛けられた結果、予想以上の方々の参加がありました。

11月11日10時から11時までの計画で、腰を曲げながら、土の上にヘタリながらお互いに語らいながらの和やかな作業が進められました。公園外の歩道脇の雑草もきれいに除草されました。その道路わきの除草に当たった方から自治会長に路面の改善要望がだされました。坂道の路面が、割れたり・デコボコだらけになっていたり!で、特に高齢の方にとっては歩行上危険な状態ですよと!確かに、この場所は、買い物からバスで帰って来ても、一丁目から白瀬川沿いに歩いて帰って来ても、ご高齢の方

にとつては最もシンドイ坂道なのです。その坂道の路面が、今のままだと、躓いて転んだりしかねないと思います。自治会長さんには、市役所への改善要望を是非だして欲しいとの要望です。

一斉清掃、多くの方の参加がありました。1時間では全城をきれいにするには時間的にも人数的にも更に多くの方の参加が必要だと感じました。

「宝塚市の市民一斉清掃」は、年2回 春と秋に実施されます。この運動は、宝塚市の環境部生活環境課の管轄ですが『宝塚を美しくする市民運動』として昭和57年にスタートして続けている活動です。

「白瀬川のクリーンハイキング」や「西山住宅の一斉清掃」等もその一環だと思います。公園は市所有の公共場所ですが、パークマンションが一番近く、利用度も一番多いと思います。年2回の一斉清掃日には多くの方の参加を期待しています。

(記事 ; o t)



宝塚市内一斉清掃と 公園アドプト制度

11月11日(日)宝塚市内一斉清掃にからめてアヴェルデマンション敷地内の公園の清掃も行いました。

通常、宝塚市内清掃は建築物が面している道路などの清掃をするわけですが普段あまり管理されているとは言えない敷地内の公園2か所の草引きなども併せて行いました。(この公園はアドプト申請していないため放置状態)子供たちが遊んでいる公園をろくに清掃もせず外面ばかり気にするのめどうかと思っていました。のいい取り組みかと個人的には思いました。公園清掃について宝塚市ではアドプト制度という報奨金を付けた制度を各自治体などと結んでいます。清掃活動の補助ということになりすがざっくり説明すると1か所で基本補助が30,000円+公園の面積1㎡当たり20円が加算されます。広ければ広いほど補助が受けられるということになります。

アドプト制度締結済み部分



自治会や管理組合と取り決められていても実際に公園の清掃に会員の多くが参加するということはあまりなく一部の方の負担に頼っているのが現状かと。より多くの方にも参加を呼び掛けていくということが急務だと思っています。補助を受けるといふことは請け負った責任も大きいと考えなければならぬわけですから。当日は30人ほどの方が参加されて1時間ほど清掃・草引きなどに取り組みました。雑草は人があまり歩かない公園の隅っこに集中していましたが見違時間の清掃・草引きで見違

アドプト制度未申請の公園西側部分



えるようにスッキリしたようには思いません。来月は日曜日ではなく曜日を覚えて実施予定でより多くの方に参加を促していくことになっています。一度皆さんも地域の清掃活動に参加してみたいかがでしょうか。地域に対する思いが変わるかもしれませんよ。



白瀬の自然

コナラ(小楢)

コナラは日本全国各地の山野ではえています。いわゆる雑木林でよく見られる落葉高木です。

幹は直立に分枝し高さ 17m くらいで枝は細く伸びています。葉は互生で有柄、長さ 5～12cm、初めは有毛でのちに表面は滑らかになり裏面が灰白色、伏毛があります。秋には黄葉します。

花は 5 月に咲き、雄花は尾状の花穂でがく片が 5～7 裂しています。同株で雌花は総苞内、花柱が 3 個です。堅果(どんぐり)は長さ 1.5cm～2cm です。

コナラは落葉樹ですが、秋に葉が枯れた時点では葉柄の付け根に離層が形成されないため茶色の樹冠を見せます。

春に新葉が展開する頃に枯れた葉の基部の組織で離層が形成され落葉がおきます。

コナラは昔から木炭の原料として使われていました。又、椎茸の原木として使われてきました。

1960 年頃から化石燃料の普及が急速に進んだため炭焼きは衰退しました。又、燃料としての薪も使わなくなったことで昔からの里山が継続しているところはほとんどなくなってきました。

人と自然の共生という観点からは昔の「里山」の人が山に手を入れることで動植物も生息条件を満たし、人とお互いの領域内で生きる良好な関係が保てたのかもしれませんが。自然を大切にしたいものです。

冬の季節にも裏山の動植物は、それぞれの生き方をしています。寒い季節ですが、時々、散策してもいいのではないのでしょうか。



【編集後記】

本年も宝塚ゴルフ場への避難訓練が行われました。平日の開催でもあり参加できなかった方もたくさんいることでしょうか。訓練は非常時を想定し、どうするのかを疑似体験するものです。多分、非常時にゴルフ場の入り口が開くのかは体験しなければ分からないかもしれません。又、県道の横断時の注意することも必要です。訓練未体験の方も可能な時に体験されるようお勧め致します。

市の一斉清掃と公園アドプト制度について 2 マンションからの記事が寄せられました。公の場所に住民が関わり、しっかりと住環境を作っていくことが両マンションの事例から見られました。白瀬川のクリーンハイキングともども多くの方が関わっていただければと思います。

芸術の秋、2 マンションの作品展の記事もアップしました。作品は幅広い世代の方達の手によるものであったようです。誰もが自由に創造し、その作品をみんなが楽しむすばらしい関係を見られます。さらに広がればいいかなと思います。

(S)